毎日新聞 2012.3.2

山浦最高裁判事「叫び聞き臨む」

就任会見

1日付で弁護士から最高裁判事に就任した山浦善樹氏(65)が最高裁で就任の記者会見を開き、「法律は人を幸せにする道具。記録の中に埋もれている悲鳴や叫びをキャッチして事件に臨みたい」と抱負を語った。

大卒後、銀行勤めをした経歴を持ち、71年に司法試験に合格し、74年に弁護士登録。司法研修所の教官や、筑波大など2カ所の法科大学院教授を歴任し、若手法律家の養成に長く関わった。「市民と国との間で持っている情報量に偏りがあり、それを正す裁判手続きを理想としたい」と述べた。【石川淳一】

記者会見する山浦善樹最高裁判事＝東京都千代田区の最高裁で1日